

2020年度事業計画と組織

◎はじめに

新型コロナウイルスに感染し、闘病されている方やそのご家族の皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

また、このような厳しい状況下でも、医療、福祉、教育など最前線の現場で活動しておられる皆さまには、心からの敬意と感謝を表します。

これまで、私たち市民は、地域コミュニティでの支え合いはもちろん、さまざまな課題に市民ならではの視点で取り組みを重ね、暮らしや文化をより豊かにするための活動を生み出してきました。

そこでは、「顔の見える関係づくり」や「つながり」を大切に、多様な人が出会い、ふれあい、学びあいながら、社会的に孤立する人ひとりひとりに寄り添う取り組みを重ねてきました。

今、新型コロナウイルスの感染拡大により、世界中で、ふれあい、集うことを極力避け、人と人が物理的な距離をとることが強く求められるようになりました。これまで私たちがあたりまえに続けてきた人と人とのつながり方、支えあい方からいったん離れ、新たな方法やしぐみを生み出そうと試行錯誤する過程で、目の前に高い壁が立ちはだかっているような感覚に襲われます。

1965年、市民主体で設立されたボランティア・市民活動支援機関である大阪ボランティア協会（以下、「協会」）では、こうした危機的な状況に際しても、ボランティアと事務局スタッフが共に知恵と力を出しあって活動を続けようと、常任運営委員会を中心に各チームでプロジェクトを継続しながら、今回の事態の対応にあたっています。

協会は、世代や立場が異なる人々が自由に集え、排除しない「広場」をつくり、草の根の市民が権威や権力に臆することのない市民の手による自治運営をする「砦」の機能づくりにこだわってきました。この難局を冷静に乗り切る責任感と判断力を保ちつつ、今のスタイルに合った「広場」と「砦」を新しく模索していきたいと思えます。

今こそ市民の「参加」の力を信じ、この未曾有の事態を、だれひとり取り残すことなく、市民同士が助けあう原点に立ち戻る機会にしていきたいと思います。

2020年度の事業計画については、現時点では継続事業などの一部を除き一時保留とし、状況に応じて対応することになります。

現在、この状況下の中で何ができるのか、あるいは今後の状況を注視しつつ、少しでも早く、安全に、市民活動が展開できるように取り組んでまいりますので、ご理解をいただけますようお願いいたします。

1. 事業の推進計画

2020 年度の協会は、2015 年 11 月に発表した「行動宣言」を中軸に置き、引き続き重点テーマである「社会的孤立の抑制・解消」事業と「災害支援・防災」事業の充実をはかる。

また、2015 年に国連で採択された SDGs（持続可能な開発目標）の理念である「だれひとり取り残さない社会」の実現に向けて、ともすれば「経済」優先になりがちな現代社会において、「経済」と「環境」と「社会」との調和に配慮した取組みが当たり前の近未来社会となるよう、コーディネーション機関である協会の特性と強みを生かして、精力的に取り組みたい。

「ボランティア・NPO推進センター」においては、「ボランティアコーディネーション事業」、「市民力向上事業」、「NPO運営基盤事業」を実施する。また「企業市民活動推進センター」、「情報研究・出版・市民シクタンク事業」を展開。さらに、「災害支援・防災事業」にも取り組み、「市民活動の総合サポートセンター」としての特色を活かした事業を推進する。



協会の「SDGs」達成へのコミットメント



4-7 地球市民教育、持続可能な開発のための教育の推進



10-2 全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進



11-b あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う



16-7 あらゆるレベルにおいて、対応的、包摂的、参加型及び代表的な意思決定を確保



17-16 持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化

【ボランティア・NPO推進センター部門】

ボランティア・NPO推進センターは、①「ボランティアコーディネーション」、②「市民力向上（市民学習・研修）」、③「NPO運営支援・基盤整備」「市民活動の場の支援（CANVAS谷町）」の3事業において、相乗効果を出せるよう相互連携して取り組む。

1. ボランティアコーディネーション事業（大阪市受託事業を含む）

協会のコア事業の一つであるボランティアコーディネーション事業は、「大阪市福祉ボランティアコーディネーション事業」として、2018 年度から 3 年間、継続して受託することになった。個人、施設・NPOなどからの「ボランティアの応援を求めている」という依頼に応えるとともに、「ボランティア活動、市民活動に取り組むたい」という人々の思いをかなえる取り組みを進め、市民の「参加の力」で自治的に社会課題を解決する社会づくりのため、協会の専門性を活かしたい。なお今期の事業受託では、「生徒と福祉の現場をつなぐ交流コーディネーション事業」が新たに加わり、大阪市内の中学校で生徒が福祉の現場にふれ、理解する体験を支援することになった。この事業は「市民力向上（市民学習・研修）事業」とも関連するものだが、連携して事業を展開する。

■ 2020年度の特徴的な事業

【行動宣言関係事業】

- ・(大阪市受託)「インクルーシブボランティア研究会」
(旧・課題を抱える当事者の活動支援事業の開発)
研修の開催
- ・(大阪市受託) 災害時要配慮者を支えるボランティア
リーダー育成研修

【新規事業】

- ・なし



1) 相談を通じた問題解決：個人・団体の受け入れ力を向上

- ① (大阪市受託) 大阪府域を超えての個人、施設・NPOへの訪問、面談、各種関係機関との連携や施設団体へのボランティアマネジメントのアドバイス、相談など
- ② (大阪市受託) 「ケース検討会」の定期開催とケースからのテーマ別研究
- ③ (大阪市受託) 「インクルーシブボランティア研究会」(旧・課題を抱える当事者の活動支援事業の開発) 研修の開催 **【行動宣言関係】**

2) 活動希望者への対応：新たな活動層を広げる

- ① (大阪市受託) 「はじめてのボランティア説明会」、「出張ボランティア相談会」の開催
- ② (大阪市受託) ボランティア活動リーダーのための「学び」の場提供
- ③ (大阪市受託) 災害時要配慮者を支えるボランティアリーダー育成研修 **【行動宣言関係】**
- ④ (大阪府共募助成) 「ボランティアスタイル」事業の推進
- ⑤ (大阪府共募助成) 「関西人のためのボランティア活動情報ネット (KVネット)」によるボランティア情報の発信
- ⑥ メルマガ「関西人のためのボランティア情報」の編集・発行、およびマスコミへの活動情報提供 (読売新聞わいず倶楽部)

3) 企業人や学生へのボランティア活動の機会を開発・提供

- ① (大阪市受託) 「チャンスがあればやってみたかった」プログラムの提供
- ② (大阪市委託) 企業人のボランティアが参加しやすいボランティアプログラム開発と推進
- ③ (大阪市受託) SNSによる情報発信
- ④ (大阪市委託) 学生チームによる情報発信プロジェクト

4) 生徒と福祉の現場をつなぐ交流コーディネーション事業の開発・提供

- ① (大阪市受託) 教師向け講座と勉強会の企画・実施
- ② (大阪市受託) 福祉教育プログラムの開発と実施

5) ボランティアコーディネーションに関わる人材養成・専門性向上・基盤強化の提供

- ① (大阪市受託) 市・区域のボランティアセンター等と連携した支援の実施
- ② (JVCA 共催) 「第46期ボランティアコーディネーター養成講座 (新任向け)」の企画・実施
- ③ (JVCA 共催・受託) 「ボランティアコーディネーション力3級検定」直前研修と検定の実施

2. 市民力向上(市民学習・研修)事業

「市民」として生き方を深めるための学習支援事業は、①各種の市民向け講座が多彩に開催される市民学習・研修、②NPOや市民活動推進の専門職対象の研修、③全国各地からの派遣要請に応じて“出前講座”を進める「講師派遣事業」の3形態に大別される。2020年度も、金曜の夜、アソシエーターがそれぞれの専門性を活かして無償で講師を務める「CANVASよるがく」のように協会内の「参加の力」を活かしつつ、以下の各事業を精力的に推進する。2020年2月以降、新型コロナウイルスの影響により集合しての講座・研修が行うことができなくなり、講師派遣の依頼も激減しているため、オンラインでの講座開催を検討していく必要がある。

■ 2020年度の特徴的な事業

【行動宣言関係事業】

- ・(大阪市受託) 災害時要配慮者を支えるボランティアリーダー育成研修(再掲)

【行動宣言関係・新規事業】

- ・(大阪府共募助成) ボランティアリズム研究所「『市民セクターの次の10年を考える』研究会第4幕～社会的孤立の抑制と解消への道程」の開催

1) 市民向けの市民学習およびNPOや市民活動推進の専門職対象の研修

- ①(大阪市受託) 「はじめてのボランティア説明会」の開催(再掲)
- ②(大阪市受託) ボランティア活動リーダーのための「学び」の場提供(再掲)
- ③(大阪市受託) 災害時要配慮者を支えるボランティアリーダー育成研修【行動宣言関係】(再掲)
- ④(日本NPOセンター助成) 「新SAVE JAPAN 要配慮者のための防災・減災プロジェクト」の開催【行動宣言関係】
- ⑥(大阪府共募助成) 「はじめてのNPO相談会」の定期開催
- ⑦「CANVASよるがく」(『ウォロ』特集連動企画を含む)、「CANVASカフェ」(会員自主企画)の開催
- ⑧(NPO支援財団研究会共催) 助成実務担当者セミナー&NPO支援助成シンポジウム大阪(仮)の共催【新規】
- ⑨(大阪府共募助成) 裁判員ACT公開学習会の開催(新型コロナウイルス感染拡大を受けて事業を見直し、今年度の「連続セミナー」は開催を見送ることに)
- ⑩(大阪府共募助成) ボランティアリズム研究所「『市民セクターの次の10年を考える』研究会第4幕～社会的孤立の抑制と解消への道程」の開催【新規】【行動宣言関係】
- ⑪(大阪府共募助成) ボランティアリズム研究所「リサーチ&アクションセミナー」の開催
- ⑫「はじめてのCSR・社会貢献講座」の開催
- ⑬時宜に応じた講座・学習会などの開催

2) 市民向けの参加・関心を高める場の提供

- ①裁判員ACT「裁判や司法制度に関する体験記・傍聴記」の第2回公募の準備(新型コロナウイルス感染拡大を受けて事業を見直し、今年度の「公募」は見送ることに)

3) 講師派遣事業

- ①全国各地で開催される市民活動講座や行政職員研修などへの講師派遣と講座企画の受託(ボランティア、災害ボランティア、ボランティアコーディネーション、参加の力を生かす、NPO運営、ファシリテーション、コミュニケーション、地域福祉、障害と就労、行政との協

働、CSR・社会貢献、裁判員裁判、日本語でつたえるコツ等)。対面での講座や研修の講師派遣だけでなく、オンライン講座や研修の企画開発をサポートしつつ、一方でオンライン講師の育成を行い、新たな受託につなげる。

4) 視察研修、研修生・インターン等の受入れ

- ① 大学や企業のインターンシップ生の受け入れ
- ② 国内外の関連機関などからの視察研修の受入れ

3-①. NPO運営支援・基盤整備事業

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大によって、事業および組織運営に多大な影響を受けたNPOが持続可能となるよう、ウィズコロナ、アフターコロナ時代のNPO運営支援・基盤整備に焦点をあてて事業を展開する。その推進にあたっては、平時と同様に、他セクターとの連携を意識的に行い、個々の団体に寄り添いつつ、マルチステークホルダー型の課題解決に向けて様々な市民活動団体の運営相談や支援を展開する。

■ 2020年度の特徴的な事業

【行動宣言関係事業】

- ・なし

【新規事業】

- ・パートナー登録団体（NPO）にむけたNPO支援の検討に着手

1) NPO・市民事業マネジメント支援事業

- ① ウィズコロナ、アフターコロナ時代におけるNPO運営などの相談対応&コンサルティング
【コロナ対応】
- ② (大阪府共募助成) 「はじめてのNPO相談会」の定期開催(再掲)
- ③ メルマガ「NPOぼいす」の編集・発行
- ④ 他団体への後援名義・運営協力

2) 支援者とNPOの連携支援事業

- ① 「パートナー登録」(略称「P登録」)制度の運営
 - ・ウィズコロナ、アフターコロナ時代における支援者とのコーディネーション(人、モノ、資金、情報)、継続的な運営相談、協会主催研修会・講習会の優先受付・割引、定期的な情報提供、「市民活動スクエア『CANVAS谷町』」の利用優待【コロナ対応】
 - ・団体訪問による課題のヒアリングを通じて、勉強会や新たな事業開発につなげる
- ② ウィズコロナ、アフターコロナ時代における支援者の開拓と信頼におけるNPOとのコーディネーション【コロナ対応】
 - ・寄贈品・寄附金のコーディネーション、助成金および賞の推薦協力
- ③ ウィズコロナ、アフターコロナ時代における支援者とNPOの連携推進のための事業の実施
 - ・パートナー登録団体(NPO)にむけたNPO支援の検討に着手【新規】【コロナ対応】

3-②. 市民活動の場の支援「CANVAS谷町」事業

市民活動の芽吹きを育み、さまざまな団体の関係者や関心を持つ人々がつながる場として2013年に開設した「CANVAS谷町」は、初年度の約2倍の利用者を得られるようになってきたが、2020年3月以降、新型コロナウイルスの影響により利用が激減。予定していた講座等中止する団体も多く、会議室貸し出し以外の収入を模索していく。

1) 「CANVAS谷町」の情報交流エリアの運営（自治的運営と一層の利用促進）

- ① 情報交流エリア：コーディネーション事業と連携したちらしの配架やポスターの掲示による広報協力、CANVAS谷町のデザインチーム「たにまちっく」と連携した施設内の環境改善作業など

2) 「CANVAS谷町」貸出し等、場の提供支援の取り組み

- ① コラボエリアの運営：市民活動団体へのフレックスデスク、コーディネーションデスクなどの貸出し利用提供、ロッカー・レターケース等の有償貸与、印刷機利用提供、利用団体への運営助言など
- ② 会議室エリアの運営：会議室の貸出し提供【コロナ対応】
- ③ 全体的の利用率アップの促進
- ④ 会議室貸し出し以外の収入源の模索（テレワークブースの設置等）【新規】【コロナ対応】

【その他の部門および事業】

4-①. 災害・復興支援、防災事業

協会は阪神・淡路大震災の際に日本で初めて災害ボランティアセンターを開設した団体だが、災害発生時には協会の平時の蓄積を土台に、既存のネットワークと連携しつつ、市民参加による復興支援活動に取り組んでいる。近年、災害ボランティアセンターは社会福祉協議会などが整備する体制ができつつある中、特に大阪・関西エリアが被災した場合、協会は「おおさか災害支援ネットワーク」世話役団体の1つとして連携・協働の促進役を担いつつ、スペシャルニーズ（特別な配慮の求め）に応えられる仕組みを生み出すこととしている。

また、協会BCP（事業継続計画）について、ウィズコロナ、アフターコロナ時代における見直しを行うとともに、大阪府北部地震や令和元年台風19号災害支援の経験をふまえて、備えを実行に移す。

■ 2020年度の特徴的な事業

【行動宣言関係事業】

- ・ 災害時の要配慮者支援をテーマとした体験型プログラム（災害時のスペシャルニーズ支援事業の後継）

【新規事業】

- ・ なし



1) 災害時、あるいは備えとして平時から取り組む事業

- ① 職員とボランティアをチームにして、実災害時の運営支援者・運営者を派遣（災害発生時）
- ② 災害時の要配慮者支援をテーマとした体験型プログラム（災害時のスペシャルニーズ支援事業の後継）【行動宣言関係】

- ③ (大阪府共募助成) 災害時に動ける人づくり (災害・防災をテーマとした講師派遣、SUG (スグに動く災害支援チーム) を中心とした災害ボランティアリーダー養成など)
- ④ 広域避難者の支援活動

2) 協会の事業継続のための計画 (BCP) および災害支援計画策定

- ① ウィズコロナ、アフターコロナ時代を念頭に置いた協会BCPおよび災害支援方針 (案) のバージョンアップ【コロナ対応】

4-②. 新型コロナウイルス対応関連の動き以下全て【新規】【コロナ対応】

1) NPO・市民活動支援に関する動き

- ① 新型コロナウイルス緊急支援基金「私と地域と世界のファンド：みんなおんなじ空の下」を設置。新型コロナウイルスの影響で、財政的に厳しい状況となっているNPO・市民活動団体支援のため、(特) 関西NGO協議会、(一財) 泉北のまちと暮らしを考える財団、リタワークス (株) と4団体共同で設立する。寄附募集にあたっては、(一社) 全国コミュニティ財団協会が全国47都道府県で設置する「47 コロナ基金」のしくみを活用して、7月末までに1,500万円の寄附を募集する。7月に助成団体を公募し、8月には助成を行う。
- ② 『新型コロナウイルス感染症 NPO緊急支援サイト：新型コロナウイルス感染症の影響を受けて困っている人のために「今すぐ」できること』を新規に開設する。新型コロナウイルスで困っている人に何かしたいという声を受け、パートナー登録団体の「寄附」「寄贈」「ボランティア募集」の情報を集約して掲載し、支援したい人と繋げる。
- ③ 「新型コロナウイルスの影響下での市民活動に関するメッセージ」をホームページに掲載するとともに、SNSで情報を拡散する。

2) 調査・提言に関する動き

- ① 「新型コロナウイルス感染症が市民活動に及ぼす影響に関する調査」を実施する。NPOの状況とニーズの把握を行うことを目的に、ボランティアリズム研究所の岡本仁宏運営委員長が主体となり、大阪NPOセンター・きょうとNPOセンター・しゃらく・市民活動センター神戸・ひょうごコミュニティ財団・関西大学法学部坂本治也研究室の協力を得て、京阪神の1,024のNPOに対して緊急調査を行う。調査結果報告はホームページに掲載して広く公開する。
- ② パートナー登録団体へのお困りごとアンケートを実施する。前述の「新型コロナウイルス感染症 NPO緊急支援サイト」に情報を掲載する。
- ③ NPO議員連盟に提出した「新型コロナウイルスの影響によるNPO及び多様な市民活動の存続危機に対する支援に関する要望書」に賛同する。
- ④ 協会が(一財) 泉北のまちと暮らしを考える財団、(特) SEINとともに呼びかけ団体となり、近隣の15のNPO支援センターとともに、「新型コロナウイルスの影響によるNPO及び多様な市民活動の存続危機に対する支援に関する要望書」を大阪府知事に提出する。
- ⑤ 協会が呼びかけ団体となり、大阪市内に事務所を有する4つのNPO支援センターとともに「新型コロナウイルスの影響によるNPO及び多様な市民活動の存続危機に対する支援に関する要望書」を大阪市長に提出する。

3) 市民活動スクエア「CANVAS谷町」での対応

- ① 緊急事態宣言中の夜間・週末を中心とした、利用がない日・時間の臨時休館を導入する。
- ② 緊急事態宣言中の会議室の新規受付中止 (原則として)、キャンセル料を無料対応する (予

約完了済みの団体は開館して対応)。

- ③ 会議室の定員を見直しする（物理的距離の保持）。
- ④ 利用団体への感染予防に関する対応を依頼する（利用者の体調・連絡先等の把握等）。

4) 協会内での動き

- ① 緊急支援寄附を募集する。
- ② 「新型コロナウイルスに関連する動きまとめ」をホームページに掲載する。
- ③ 緊急事態宣言に伴う職員の在宅勤務導入、ボランティア相談のメール・ウェブ会議ツールの優先利用、主催行事の開催見合わせ、事務所における感染予防対策、職員の健康管理等の対応を実施する。

5. 企業市民活動推進センター事業

1991年に開設した企業市民活動推進センター（CCC）は、2020年度も引き続き、企業市民活動の推進、そして企業と市民活動の連携を進める事業を推進する。「フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム」では、「SDGsの実践」を年間テーマに取り上げる予定だったが「ウィズコロナ、アフターコロナ時代における社会課題と我々ができることを考える」と変更し、学びを深めていく。また、会員企業とともに情報交換や、CSR・社会貢献のあり方についての意見交換等にも取り組んでいく。

■ 2020年度の特徴的な事業

【行動宣言関係・新規事業】

- ・リンク会員による「リンク災害・防災委員会」で、発災時にスムーズな連携をするための仕組み作り
- ・企業市民活動に関する調査研究の実施（企業とNPOの連携で社会的孤立の解消・SDGsの推進に取り組む）

【新規事業】

- ・NPOの組織基盤強化の企画受託（武田薬品工業㈱「タケダ・NPOサポートプログラム（第2期）」）



1) コンサルテーションとコーディネート

- ① 企業市民活動（「CSR」「企業の社会貢献」等）全般の相談対応や企画へのコンサルティング
- ② 市民活動団体への助成プログラムの事務局受託（積水ハウス㈱「マッチングプログラム」、阪急阪神ホールディングス㈱グループ「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金 助成プログラム」）
- ③ NPOの組織基盤強化の企画受託（武田薬品工業㈱「タケダ・NPOサポートプログラム（第2期）」） **【新規】**
- ④ 企業・労働組合のボランティア関連講座・研修の企画受託

2) 教育・研修・研究

- ① 社員向けボランティア講座の受託開催、および企業関連の講師派遣
- ② 「フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム（PCLF）」の企画開催（偶数月第2火曜）と幹事会の運営、自主ゼミ「リンクアップ・ジュニア」のサポート、「リンク災害・防災委員会」の運営（一部）
- ③ リンク会員による「リンク災害・防災委員会」で、発災時にスムーズな連携をするための仕

組み作り **【新規】【行動宣言関係】**

- ④ 「はじめてのCSR・社会貢献講座」の開催（再掲）
- ⑤ 「うめきた朝ガク運営委員会」への参画と企画・実施
- ⑥ 企業市民活動に関する調査研究の実施（企業とNPOの連携で社会的孤立の解消・SDGsの推進に取り組む） **【新規】【行動宣言関係】**
- ⑦ 元・社会貢献担当者が市民活動に関わり続けられる機会づくりや研修の企画・実施

6. 情報提供・出版・市民シンクタンク事業

協会は創設翌年の1966年に『月刊ボランティア』を創刊して以来、ボランティア活動／市民活動に関わる動きの紹介と論説を続ける一方、約280点の書籍を発行するなど、市民活動に関わる“モノの見方・考え方”を整理し、情報の発信と理論化を進めてきた。さらに、蓄積してきた知的財産を活かした市民シンクタンク事業にも取り組んできた。2020年度も市民活動総合情報誌『ウォロ』を通じて協会のオピニオン発信を行うとともに、「ボランティアリズム研究所」では、「市民セクターの次の10年を考える研究会第3幕および第4幕」を研究誌にまとめ、知の共有や発信の強化をめざす。

■ 2020年度の特徴的な事業

【行動宣言関係事業】

- ・ 裁判員ACTによるウォロ連載記事「傍聴カフェ」の掲載

【行動宣言関係・新規事業】

- ・ ボランティアリズム研究所『ボランティアリズム研究誌4・5号』の編集と発刊



1) 情報誌の発行と情報提供

- ① (大阪府共募助成) 市民活動総合情報誌『ウォロ』の企画・編集・発行（年6回）、及び購読者拡大
- ② 裁判員ACTによるウォロ連載記事「傍聴カフェ」の掲載 **【行動宣言関係】**
- ③ 巡静一基金「ボランティア・市民活動ライブラリー」の蔵書の検索システムの公開、および蔵書検索システム構築にあたっての指定寄附の募集、新聞切抜のPDFデータ化
- ④ 協会公式ホームページ「ぼらやねん」の運用
- ⑤ 協会公式 facebook、Twitter の運用

2) 書籍の編集と発刊

- ① 中央法規出版刊『福祉小六法2021』の編集協力
- ② ボランティアリズム研究所『ボランティアリズム研究誌4・5号』の編集と発刊 **【新規】【行動宣言関係】**
- ③ 『学生のためのボランティア論』の改訂に向けた編集委員会設置
- ④ 『日本ボランティア・NPO・市民活動年表』の増補改訂版の制作

3) 市民シンクタンク事業

- ① (真如苑受託) 真如苑「社会貢献アドバイザー委員会」および「有識者との意見交換会開催事業」事務局、ならびに「多摩地域市民活動公募助成事業」および「自立援助ホーム支援助成事業」の助成金事務局
- ② 審議会、研究会、助成審査会、学会役員などへの参画

7. 国内外のネットワーク推進事業

1) ボランティア推進関連のネットワークキング

- ① 全国規模のネットワークキング（「ボランタリズム推進団体会議（通称：民ボラ）」への参画と「民ボラ第38回 in 大阪」の企画運営（2021年夏に開催延期）、「『広がれ！ボランティアの輪』連絡会議」への参画と「ボランティア全国フォーラム2020」の企画運営）
- ② 関西規模のネットワークキング（「関西地区大学ボランティアセンター連絡協議会」）への参画
- ③ 大阪におけるネットワークキング（「天神祭ごみゼロ大作戦」実行委員会）への参画

2) NPO推進関連のネットワークキング

- ① 全国規模のネットワークキング（「日本NPOセンター」「シーズ・市民活動を支える制度をつくる会」「NPO法人会計基準協議会」「NPOの法制度等改革推進会議」）への参画
- ② 関西規模のネットワークキング（「関西NPO支援センターネットワーク（KNN）」「近畿圏NPO支援センター連絡会議」「関西NGO協議会」）への参画

3) CSRへの提言関係のネットワークキング

- ① 全国規模のネットワークキング（「社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク」）への参画

4) 災害時・防災のネットワークキング

- ① 全国規模のネットワークキング（「震災がつなぐ全国ネットワーク（震つな）」への参画
- ② 関西規模のネットワークキング（「3.11 from KANSAI 実行委員会」への参画と震災復興応援イベント「3.11 from KANSAI 2020」（新型コロナウイルス感染拡大防止のために延期した分）と「3.11 from KANSAI 2021」の実施）
- ③ 大阪におけるネットワークキング（「おおさか災害支援ネットワーク（OSN）」「まちなか被災シミュレーション実行委員会」）への参画と定例会の企画実施
- ④ 企業や労働組合等との協働による災害支援プラットフォームづくりの研究・開発 **【行動宣言関係】**
- ⑤ （災害時のスペシャルニーズ支援事業の後継）災害時の要配慮者支援をテーマとした、「障害・難病」「子ども」「外国人」の3分野のネットワークキングへの参画 **【行動宣言関係】**

5) SDGs関連の推進ネットワークキング

- ① 全国規模のネットワークキング（「2019 G20 市民社会プラットフォーム」「SDGs 市民社会ネットワーク」への参画）
- ② 関西規模のネットワークキング（「関西SDGsプラットフォーム」、「G20 大阪市民サミット実行委員会」への監事・常任委員の派遣と「同実行委員会解散総会」の開催や「同サミット総括フォーラム」の企画実施）

6) 協同組合関連の推進ネットワークキング

- ① 大阪におけるネットワークキング（「大阪府協同組合・非営利協同セクター連絡協議会」への参画 **【新規】**

7) その他分野別のネットワークキング

- ① 大阪におけるネットワークキング（「障害者週間協賛事業大阪実行委員会」「地域こども支援団体連絡会」「大阪府青少年育成大阪府民会議」「安全なまちづくり推進会議」「大阪ふれあいキャンペーン実行委員会」）への参画
- ② 役員などの派遣（理事長、常務理事・事務局長などが他団体の役員に就任）
- ③ 海外の市民活動推進機関とのネットワークキング（視察受入れを通しての情報交換など）

2. 事業を支える組織と財政の強化

■ 2020年度の特徴的な事業

【行動宣言関係・新規事業】

- ・ 協会独自のファンド設立に向けた定款変更の実施

【新規事業】

- ・ 職員の働きやすさ、働き方改革等を考慮した就業規則の作成（改定）
- ・ 顧客データベースの拡充、およびデータベースを活用したコミュニケーションの充実と事務等の低減

■ 2020年度予算作成にあたって

当初予算は（予備費を相殺しても）170.2万円の赤字予算であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた財政悪化にはどめがきかず、第一次補正予算では620万円の赤字が見込まれる状況。ウイズコロナ、アフターコロナ時代に持続可能となるよう、少しでも財政改善に努める。

1. 人的な事業推進態勢の充実

協会の事業推進は、職員17人とともに111人のボランティアが事業推進と組織経営に参画する「自発性を核とする事業推進態勢」－「参加システム」をとっている。2020年度も、市民の自発的意欲が事業推進と組織経営に活かされる体制を、一層、充実し、市民の参加で様々な事業活動が展開できるよう努力する。

1) 会員・寄附者の支援継続と新たな支援者との出会い創出

- ① 個人会員、個人賛助会員、団体賛助会員の支援継続と新たな支援者への働きかけを企画・実施
- ② 会員誌『CANVAS NEWS』の定期発行（年6回）、「会員メーリングリスト」など会員サービスの充実
- ③ 顧客データベースの拡充、およびデータベースを活用したコミュニケーションの充実と事務等の低減 **【新規】**

2) 社会福祉法人としての組織活動

- ① 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会、監事会の開催
- ② 協会独自のファンド設立に向けた定款変更の実施 **【新規】【行動宣言関係】**

3) 市民参加による組織経営と事業推進体制

- ① 会員総会（「定期総会」）は新型コロナウイルスの影響により中止
- ② アソシエーター会議（「一泊創出会議」「事業計画会議」）の開催
- ③ 「常任理事会（財務基金運営委員会の機能を兼ねる）」「常任運営委員会」の毎月開催
- ④ 「ボランティア・NPO推進センター運営委員会」「企業市民活動推進センター運営委員会」「ボランティアリズム研究所運営委員会」「災害支援委員会」「ウォロ編集委員会」の開催
- ⑤ 「法人コミュニケーションチーム」およびその他の推進チーム・専門委員会の運営
- ⑥ アソシエーター研修（アソシエーター基礎研修）の企画・実施
- ⑦ 常任運営委員で構成する「人づくり（旧「はたらき方改革」）タスクチームによる対策

4) 事務局体制の整備

- ① 「事務局会議」「事務局マネジャー会議」による事務局運営の円滑化
- ② 花王人材交流による出向社員1名の受入れ
- ③ 新たなメンバーでの事務局体制を拡充
- ④ 職員研修の企画実施
- ⑤ 職員の働きやすさ、働き方改革等を考慮した就業規則の作成（改定） **【新規】**

2. 財源の確保と財政運営

2013年に大阪NPOプラザからCANVAS谷町へ拠点を移転して以降、事務局に関する経費負担が増加したことと、大阪NPOプラザ運営時の事業収入が失われたため、協会は5年連続で赤字状態が続いた。赤字期間の対処は、多額の積立金を取り崩しつつ、支援者の拡大や新たな事業収入の確保に努力してきたが、2018年度は、ようやく赤字を脱却することができ、2019年度も黒字決算を見込んでいたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて最終的に赤字決算となった。2020年度の当初予算はそもそも赤字予算を計上していたが、2020年度に入っても新型コロナウイルス禍の猛威は収まらず、第一次補正予算では620万円の赤字を積立金取崩収入をもって収支バランスを保っている状況である。先数年にわたって非常に厳しい経営状況のかじ取りを迫られるが、協会持前の市民参加型運営で知恵と工夫を結集し、この度の未曾有の難局を乗り越えていきたいと考えている。

1) 会費・寄附・助成金・補助金の維持・拡大

- ① 会費収入（個人会費・個人賛助会費・団体賛助会費）の維持・拡大
- ② 寄附収入（一般寄附・事業指定寄附・災害支援寄附・緊急支援寄附）の維持・拡大
- ③ 事業推進のための助成金、補助金の申請などによる財源確保
- ④ 常任運営委員で構成する「寄附・ファンドレイジング」タスクチームによる対策

2) 自主事業収入・受託事業収入の維持・拡大

- ① 「市民活動スクエア『CANVAS谷町』」の効率的な運営と事業収入拡大
- ② 「市民学習およびNPOや専門職向け研修」「講師派遣」の事業収入拡大
- ③ 「企業市民活動のコンサルテーション」「シンクタンク事業の調査研究」の事業受託開拓
- ④ 「ウォロ」購読料、書籍の発行経費の回収を努力

3) 支出の抑制・適正化、ならびに財務管理体制の整備

- ① 事務局による日常的な経費低減と収支管理体制の整備
- ② 経理ソフトの活用と顧問税理士との連携による社会福祉法人会計の適正運営と、常任理事会との連携による財務管理体制の確立
- ③ 顧客データベース導入による事務等の低減、および販促・広報等の強化

以上